

第1号議案 令和4年度事業報告について

令和4年度事業報告

令和4年度は、会員団体・協賛企業の御支援、御協力のもと、本県の多彩な魅力を県内外に情報発信する様々な事業を展開した。

実施した主な事業は次のとおりである。

1 役員会・総会の開催

(1) 役員会

令和4年5月11日（水） 14:00～15:00 埼玉会館

- ・総会提案事項について

(2) 総会

① 総会

令和4年5月27日（金） 14:30～15:30 ソニックシティ

- ・令和3年度事業報告・決算について
- ・令和4年度事業計画（案）・予算（案）について
- ・役員選任（案）について

② 講演会

令和4年5月27日（金） 15:30～16:30 ソニックシティ

- ・講師：株式会社 arca CEO / Creative Director 辻愛沙子氏
- ・テーマ：「令和時代のブランディングと地域の可能性」

2 実施事業【一般会計】

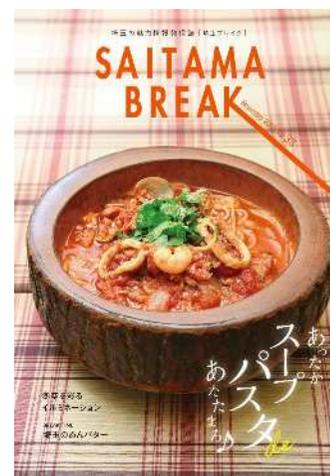
(1) 情報誌「埼玉ブレイク」発行（年3回）

埼玉県の魅力や情報を県内外に発信する情報誌「埼玉ブレイク」を年3回（7月、11月、1月）発行した。

第32号（7月）については、エネルギー価格や物価の高騰の影響を受けている観光事業者への応援として、より観光に焦点を当てた魅力発信・PRを実施するため、観光情報を特集した。

また、第33号（11月）では、令和3年9月に開幕した日本初の女子プロサッカーリーグ「WE LEAGUE」について特集し、県内スポーツの盛り上がりを図った。さらに、第34号（1月）では、埼玉で体験できる世界の食・スポットに焦点を当て、中近東のエキゾチックな料理や、海外の旅情を感じられる埼玉の名所を取り上げた。

令和4年度から配布先を拡大するとともに、電子書籍「ブックシェルフ埼玉」への掲載により、埼玉県の魅力を県内外に広く発信した。



◆ 号数 第32号～第34号

◆ サイズ A5

◆ ページ 16ページ

(第32号（7月発行）については、12ページ)

◆ 発行部数 各30,000部

◆ 配布先 会員をはじめ、パスポートセンター等の公共施設、県内主要駅及び都内、千葉県内の一部の駅、県内商業施設で配布

(2) プロスポーツチーム応援事業

当初は、コバトン・さいたまっちを活用した浦和レッドダイヤモンズ、大宮アルディージャの応援事業の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とし、令和4年9月に浦和レッズオリジナルカレンダーの割引販売を行った。

また、情報誌「埼玉ブレイク」第33号（11月発行）において、女子プロサッカーリーグ「WE LEAGUE」県内3チーム（浦和レッズレディース、大宮アルディージャVENTUS、ちふれASエルフェン埼玉）について特集した。



(3) 県民の日PR事業

県民一人一人が郷土の魅力を再発見し、愛着を深める機会としての「県民の日」を盛り上げていくため、県主催の「県民の日記念事業」に協力し、ブース出展や協賛品提供等を行った。

また、県民の日記念行事を広報するポスター（B1サイズ700枚、B3サイズ（鉄道中吊り）6,110枚）を作成・配布し、会員企業・団体に改めて県民の日を周知した。



(4) 主催・共催等事業

① SNS アカウントの活用

県が令和4年5月16日から運営する Twitter アカウント「SAITAMA Next 150」において、会員企業・団体の埼玉に関する商品情報やイベント開催情報の発信を行った。また、会員企業に賞品を提供していただき、県の SNS キャンペーンの実施に協力した。

② 仮想空間における魅力発信検証事業との連携

県が行う仮想空間における魅力発信検証事業と連携し、バーチャルクイズイベントへの参加やブース出展、プレゼント商品の提供等により、新たな角度から埼玉の魅力発信を行った。

・イベント概要

名称：埼玉バーチャルクイズフェスタ ～埼玉を知ろう！～

日時：令和4年7月23日（土）

第1部 11:00～、第2部 15:00～ 各 200 人



3 実施事業【コバトン事業特別会計】

(1) 埼玉県マスコット「コバトン・さいたまっち」による埼玉県PR事業

県内外で行われたイベントや映画撮影にコバトン・さいたまっちが参加し、埼玉の魅力についてPRを行った。

◆ 2月19日：「ぐんまちゃんお誕生日会2023」への参加（会場：群馬会館）



◆ 3月18日：「渋沢栄一誕生祭！歩いて学ぼう渋沢栄一巨大人生ゲーム」への参加（会場：深谷テラスパーク）



◆ 3月中旬：映画「翔んで埼玉2」への撮影協力

② PRグッズの製作

コバトン・さいたまっちが県内の観光地などを訪問し、撮影した写真を基にカレンダーを作成した。ウェブからダウンロードできるカレンダーとし、県内外問わず多くの方々へ埼玉県の魅力を発信した。



コバトン・さいたまっちカレンダー

4 後援・協力事業

朝日新聞社及び埼玉県合唱連盟主催の「第65回埼玉県合唱コンクール」の後援を行った。

5 その他

県の多彩な魅力をより積極的に発信していくため、会員企業・団体の皆様へのアンケート調査を実施した（別紙参照）。

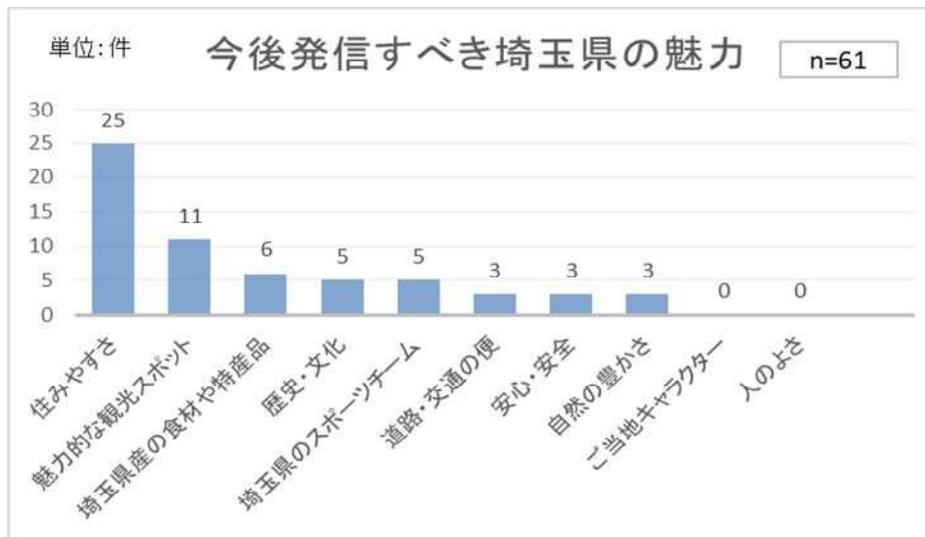
埼玉県の魅力発信に関するアンケート

- ・ 目的：県の多彩な魅力をより積極的に発信する
- ・ 対象：彩の国さいたま魅力づくり推進協議会 会員団体、協賛企業
- ・ 回答：61団体・社 / 202団体・社
- ・ 方法：メール、FAX

Q1 会員企業、協賛団体の業種について

- ・ 金融系、製造業、運輸業、医療福祉、官公庁など多岐にわたる

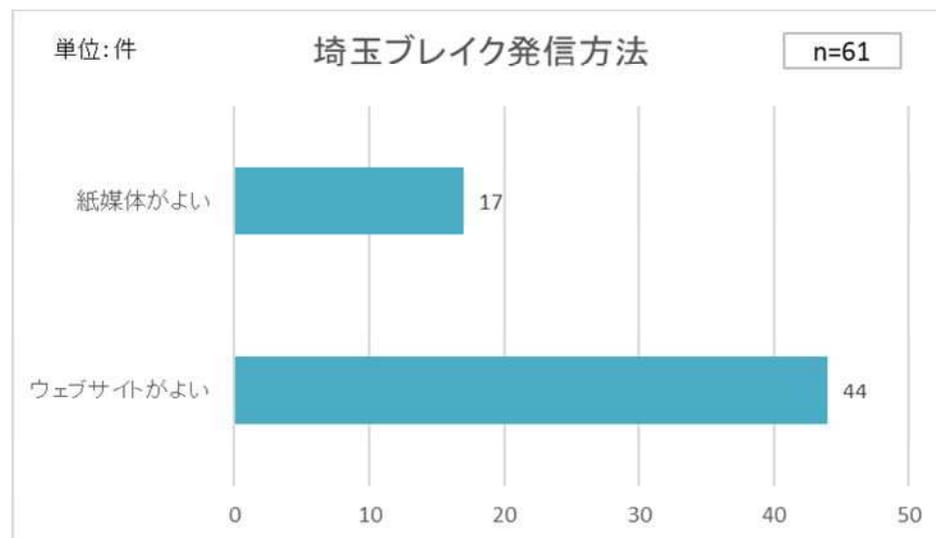
Q2 埼玉の魅力として、今後発信に力を入れていくべきと思うものについて



- ・ 住みたい街ランキングで上位にあがるようになった今は、観光というよりも居住地としての魅力にフォーカスしてもいいのでは
- ・ 都内にも出やすく、自然も豊かなため、ファミリー層が暮らすにはちょうど良い土地
- ・ 首都圏との往来がしやすいだけでなく、自然豊かで、伝統・文化の歴史が深く、また、教育・スポーツ・食文化など、多様な魅力に溢れ、安心・安全な環境で住みやすい埼玉県を一層発信できると良い など

Q3 埼玉ブレイク(情報発信冊子)について

Q3-1 発信方法について



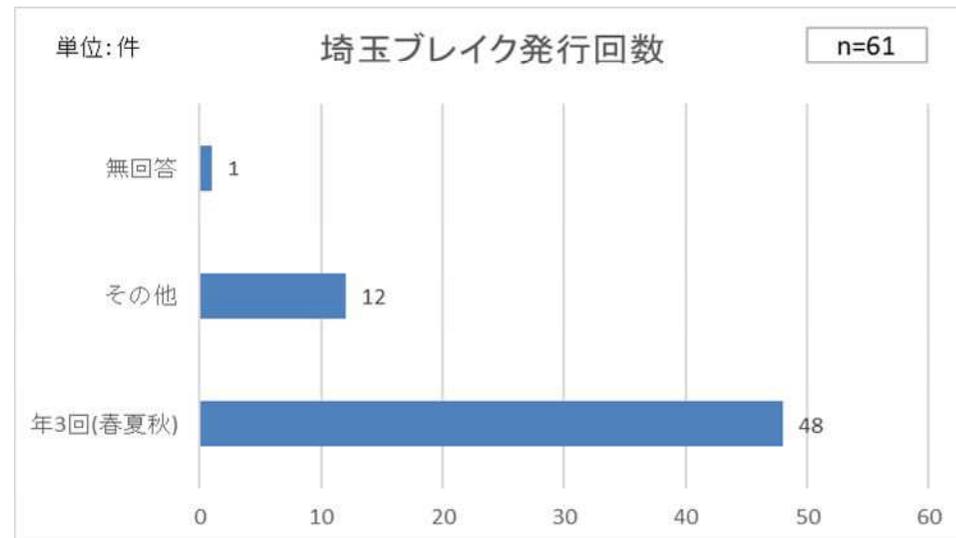
【WEBサイト】

- ・ペーパーレス化の推進、SNS等による発信が主流、コスト削減、いつでもどこでも見ることができる

【紙媒体】

- ・駅等への配架により多くの人に手に取ってもらえる、幅広い年齢層に対応、WEBサイトでは興味のある人にしか届かない

Q3-2 発行回数について

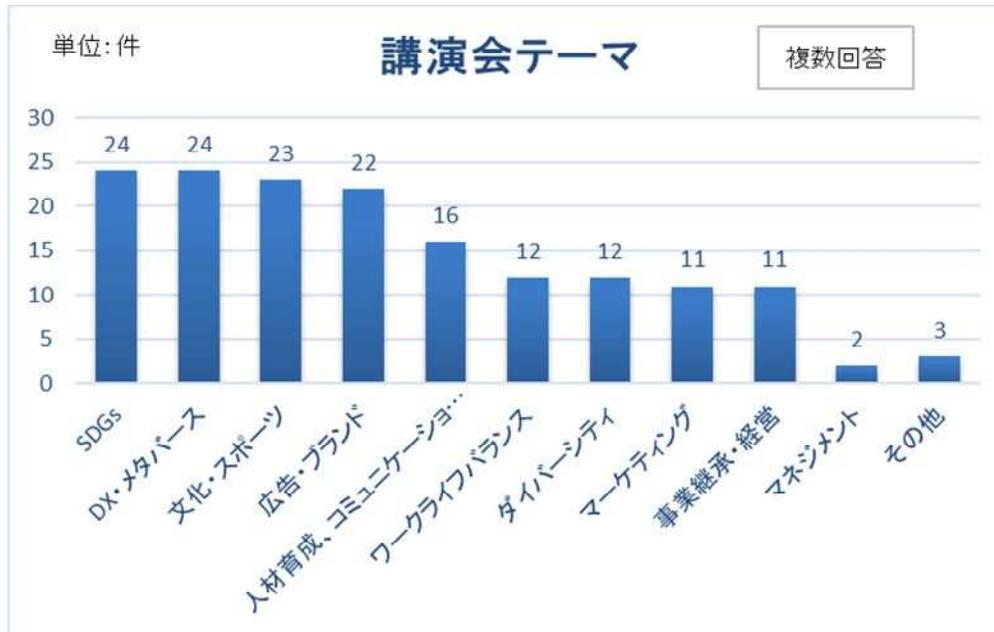


- ・現状の年3回（春夏秋）を挙げた方が多数
- ・その他、四季に沿って年4回、WEBサイトであれば更新を頻回するとよい など

Q3-3 冊子の内容について

- ・現状（観光、グルメなど）のままでよい
- ・住みやすさ（子育て、移住促進、住環境のよさ）などを挙げた会員が多数
- ・その他 地域のイベントやスポーツ、食材や生産地などの農業関連 など

Q4 総会後に実施している講演会テーマについて



・SDGs、DX・メタバースなど、企業、団体のビジネスモデルの実現、変革などに関わるテーマが多く、次いで、広告・ブランド、マーケティング、事業継承などの企業経営関連テーマを希望する回答が多かった。